

令和2年度 佐久市総合計画審議会第3部会（第3回） 会議録

日時：令和2年8月3日（月）

午後1時30分～

場所：佐久市役所 302 会議室

【出席者】 8名

【事務局】 若林企画課長、大井（実）、金澤

1 開 会

2 議 事

(1) 第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理について

事務局	【第二次総合計画前期基本計画 令和元年度進行管理報告書】 うち、「第5章 快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり」 「環境保全」（42 ページ）について説明
部会長	環境保全について、ご意見・ご質問はありますか。
委員	今後の方針の3番目に記載があります、「佐久地域の水資源保全」について、地下水賦存量調査をぜひ続けてやっていただきたいと思えます。水循環は流域のマネジメントが重要と思えますので、広域で議論を進めていただきたいです。
事務局	委員ご指摘のとおり、地下水盆を共有する広域で議論を進めており、流域のマネジメントもあわせて計画中に盛り込んで策定する方向です。
委員	平成27年度に実施したツバメに関する「生きものさがし」に協力させていただきましたが、最近私が気になっているのは、イナゴやタニシが水田にほとんどいなくなったと感じます。環境保全という面で考えると、稲に被害を与えるほどイナゴは増えてはいないと思えますが、ここ2、3年皆無になりました。外来生物は駆除しなければならないものですが、イナゴなど古くからいる生物との共存を、今後の方針で謳ってもらえないかと思えます。
事務局	133 ページにあります、生物多様性の保全につきましては、ただ今おっしゃっていただいた固有種の保全活動もしっかり行っていきます

	<p>いし、国も法律を制定して取り組んでいるところです。</p> <p>また、環境基本計画の中に「生物多様性地域戦略」も盛り込んであり、戦略の中で取り組んでいくものと思いますので、担当課へご意見としてお伝えさせていただきます。</p>
委員	<p>報告書 42 ページの表題柱書に「晴天率」と記載がありますが、できれば「日照時間」に改めてもらいたいと思います。「日照時間」は基本的なデータなどがあり、佐久市も県内では2番目、3番目とデータに基づき表現できますが、「晴天率」はデータがありません。しっかりと裏付けのある表現に変更したほうが良いと思います。</p>
事務局	<p>後期基本計画では、表現の仕方について確認させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>地球温暖化で平均気温が上昇していると思いますが、地球温暖化に関するデータを参照しつつ、「環境保全」全般では地球温暖化も考慮に入れて考えていかなければならないと思います。</p>
事務局	<p>「地球温暖化」につきましては、「環境保全」の一分野ではありますが、昨今の状況に鑑み、一つの分野として独立して「地球温暖化対策」の項目を設けておりますので、後程ご説明します。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。</p> <p>ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「街並み緑化・公園・景観形成」(43 ページ) について説明</p>
部会長	<p>街並み緑化・公園・景観形成について、ご意見・ご質問はありますか。</p>
委員	<p>国道沿いの街路樹で気になっていることがあります。国道 254 号で</p>

事務局	<p>は、望月方面から“ねむの木”が植栽されていますが、国道 141 号では、ほとんど街路樹が見当たらないと思います。</p> <p>国・県道の維持管理は、国や県の所管となりますが、緑化はもちろん図られなければならないものだと思います。市としては、緑化を推進していますので、担当課を通じ、国や県に必要な要望を行っていきたいと考えております。</p>
委員	<p>「街並み緑化・公園・景観形成」という施策全般に関してですが、報告書記載の内容だけ見ると、どちらかというと人口密度の高い、または、その周辺で実施したのみに見えてしまいます。もう少し範囲を広げ、課題や今後の方針に記載してあるように、「『原風景』と調和した『新風景』の育成」の意味合いを広げていただきたいと思います。</p> <p>また、166 ページに「地域間交流」という項目がありますが、この項目と結び付けた景観施策が非常に大事ではないかと思います。市内には、ハイキングコースや公園など、佐久の四季を楽しむ場所がたくさんありますが、それは隠れた宝だと思いますので、それを含めて景観形成を図っていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>例えば、佐久平駅前において、駅に降り立った方々が“佐久市らしい景色”を見られること、それが都会の人々にとっての佐久の魅力ではないかと思っています。委員ご指摘のとおり、様々な角度から施策連携を図りながら、景観施策を実施してまいりたいと思います。</p>
委員	<p>緑化活動など、例えば佐久市全域のマップに落とし込むなど、計画的に行われているのでしょうか。</p>
事務局	<p>マップへの落とし込みは行っていませんが、計画的に活動は実施しています。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。</p> <p>ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

部会長	それでは、次の説明をお願いします。
事務局	「地球温暖化対策」（44 ページ）について説明
部会長	地球温暖化対策について、ご意見・ご質問はありますか。
委員	「COOL CHOICE」について、広報紙で毎月掲載をしていると思いますが、その内容は環境省の取組方針そのものですよね。これだけでは市民への伝え方が弱いと思うので、記事を見て、意識啓発が促され、「記事内容に取り組んでみようかな。」と思わせるよう、掲載内容にもうひと工夫加えたほうが良いと思います。
事務局	市民目線で啓発していくことが重要だと思いますので、ご意見として、担当課にお伝えさせていただきます。
委員	エネルギーの地産地消の推進は、まさに重要なことだと思います。具体的には、太陽光発電のエネルギーが身近なものでありますが、FIT法の改正により、メリットがなくなってきていると思います。そこで、エネルギーの地産地消と同時に、エネルギーを自給自足する取組も併せて進めたほうが良いと思います。
事務局	「エネルギーを域内で循環させましょう」という取組も、様々な自治体で始まっています。中部電力から市民が買い取っている電力量を金額に換算すると、莫大な量になりますが、それを域内で循環できるようになれば、波及効果として新しい産業の創出につながり、それだけ雇用なども生まれてくると思います。先進自治体の事例も参考にしながら、検討してまいりたいと思います。
委員	エネルギーの地産地消は、低炭素社会の実現にとって非常に重要な施策です。佐久地域では太陽光エネルギーが主要なものとなっていますが、環境の面から考えると、メガソーラーなどの野立ては有り得ないと思いますので、市民の住宅の屋根を利用した小規模発電の加速と集積が重要だと思います。現在の市内太陽光発電普及率が18%程度であることから、まだまだ加速とその集積の余地はあると思います。そのエネルギーを域内の事業所や施設等で使用できる仕組みづくりを

委員	<p>行っていければ、エネルギーの地産地消が図られていくと思います。</p> <p>仰られることは間違っていないと思いますが、住宅の屋根を利用しただけでは十分な電力は供給できません。それだけでは不十分だと思いますので、風力など様々なものを駆使していかなければならないと思います。「個々の住宅に乗せればいい」という考え方は、極論だと思います。</p>
委員	<p>エネルギーの地産地消は、域内で使用するエネルギーを全て自給しろということではありません。市民ひとり一人が、地球温暖化にどう対応していくかという中で、どう行動するかです。自給率が30%、40%と上げていくことが大事であり、多くの市民にエネルギーの地産地消に参加してもらおうというのが、この施策の意味であると考えます。</p>
委員	<p>その通りですが、今、太陽光は売れないのです。「環境を守っていくのだ」という考えの方が増えればいいですが、設備投資した金額が20年後に回収できないので、ユーザーは太陽光に手を出さなくなっている現状があります。</p>
委員	<p>佐久市における地球温暖化の影響について、具体的な数字と変化を公表していくことにより、市民に地球温暖化がより身近なものとなると思いますので、対応をお願いしたいと思います。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。</p> <p>ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「環境衛生」(45 ページ) について説明</p>
部会長	<p>環境衛生について、ご意見・ご質問はありますか。</p>
委員	<p>埋め立てごみについて、うな沢第2最終処分場がもう一杯と聞いて</p>

事務局	<p>います。そこで要望ですが、クリーンセンターと同様に、最終処分場も広域で整備していければいいと思います。</p> <p>最終処分場は、整備するに当たり、場所の選定からと時間のかかる事業ですが、それが広域連携の中で進めば、様々な問題も解決できるのではと思います。担当課へご意見としてお伝えさせていただきます。</p>
委員	<p>臼田地区では生ごみを堆肥化しており、他の地区では、個人で生ごみ処理している人を除いて焼却されていますが、ごみを減らす上で、生ごみを堆肥化することは重要だと思うので、事業系ごみも含め、考えてもらいたいと思います。</p>
事務局	<p>臼田堆肥センターでの堆肥化や、可燃ごみ処理のそれぞれのキャパシティもあり、その兼ね合いも考えながら…となりますが、生ごみの堆肥化は、地球温暖化を含め環境保全の分野で必要なものであると考えていますので、担当課へご意見としてお伝えさせていただきます。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。</p> <p>ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「上水道」(46 ページ) について説明</p>
部会長	<p>上水道について、ご意見・ご質問はありますか。</p>
委員	<p>水道管について、整備から 50～60 年経過していると思いますが、その老朽化した更新はどうなっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>上水道については、佐久水道企業団で管理・運営しており、徐々に更新していくということは伺っております。</p>

委員	<p>市民に、佐久地域の水道水は地下水が水源でおいしい水であることをもっと周知したほうがいいと思います。</p> <p>また、佐久水道企業団では50年経過し老朽化した水道管は、更新を進めているようですが、莫大な費用が掛かるようです。</p> <p>佐久水道企業団は大丈夫だと思いますが、民間に経営移管するという話があり、そうなると、水道料が高くなったり経営が不安定になったりなど、不安な点が多々ありますので、公営企業としてやっていただきたいと思います。</p>
委員	<p>一昨年から千曲川に鮎に住めなくなっている状態です。これは、消毒が河川に流れ出し、鮎が食べる河床のコケが育たないためです。</p> <p>鮎釣り人は以前、1,200人程度いましたが、去年は10人程度しか来ていません。それほど千曲川流域の水が荒れていますので、水質の保全、調査などもしっかりやっていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ご意見として、担当課へお伝えさせていただきます。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。</p> <p>ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「下水道」(47ページ)について説明</p>
部会長	<p>下水道について、ご意見・ご質問はありますか。</p> <p>特にないようですので、こちらについては、このように取組を進めていただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>予定した議題は終了しました。</p> <p>以上で本日の全ての審議が終了となります。事務局から何かございますか。</p>

事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>これまでに出されました部会としての評価やご意見等につきましては、部会長と事務局で内容をまとめまして、後日、事務局から、部会の報告書案としてお送りさせていただきます。</p> <p>委員の皆様には、内容をご確認の上、何かお気づきの点がございましたら、別途お知らせいただきたいと思います。</p> <p>なお、報告書の最終調整と、部会報告の内容につきましては、部会長一任ということで対応させて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) その他

今後の日程について

- ・次回：第2回佐久市総合計画審議会（全体会）
日程について説明（9月24日（木）13：30～
佐久消防署3階 大会議室）
- ・年度内では、上記を含め3回の全体会を予定

3 閉会